

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース



2018年3月4日 第302号
奥村のり子生活相談所
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
☎&FAX 073-427-7121
Eメール wjcpken@naxnet.or.jp

来週から予算委員会が始まります
IR等誘致費 一挙に4倍化です

暖かい日もあり春の訪れを感じる頃になりました。多くの感動を与えてくれた平昌5輪も終わり、羽生選手が文科大臣に挨拶で、「もつとみんながスケートできる環境づくりを」と話されていた場面が一瞬映し出されました。スポーツ環境についていろいろ感じていると思います。

さて、来週から予算委員会です。2018年度予算の主なもの順次お知らせします。今回は県活性化につながるIR誘致等の新たな施策の立案調査・検討を行うために要する経費として、今年度は約1900万円でしたが来年度は8100万円と4倍以



上に増額しています。政府はIR実施法案にカジノ地元議決義務化を盛り込むとしています。ぜひ議会で誘致ストップのため頑張りましょう。
(奥村のり子)



特定非営利活動法人わかやまNPOセンター法人化15周年記念レセプションに参加させていただきました。

子育てCafeで

「子育てスカットとCafe」というお題で、医療現場で働くママ・パパたちから話を聞かせていただきました。看護師など不規則で厳しい現場で働くママ・パパたちが保育所や学童保育を利用しながら、懸命に頑張っている様子がひしひし伝わってきました。



参加した中村、森下市議と坂口(向こう側)

この日は、特に学童保育に関する要望が多くありました。「土曜日は、隔週の開所となっているが毎週開いてほしい」「長期休暇は8時からの開所だがそれでは仕事に間に合わない」といった切実な要望からはじまり、次から次ぎに困っていることやこうあってほしいという願いが высказывались。

「夏休みに宿題を持ってきてはダメ。でも、ds(携帯ゲーム)は持ってきてもいい」

子育て中のママ・パパと茶話会

「と指導員から言われたというビックリするような話も。子育てはどの年代も大変で、いろんな悩みがあります。子どもの成長発達のためにもできる限り良い環境で子育てができるようにしていきたいと思っています。」

この日に出された課題のいくつかは、署名を集めて市に要望されるといふことでした。

つどいには、森下さち子市議と中村あさと市議も参加しました。切実な声をしっかりと議会へ届けます。

市議予定候補
坂口多美子



この日に出された課題のいくつかは、署名を集めて市に要望されるといふことでした。

つどいには、森下さち子市議と中村あさと市議も参加しました。切実な声をしっかりと議会へ届けます。

捏造データで政策歪めるアベ氏
“過労死促進”法案を許すな!

アベ首相は、厚労省が2013年に行った労働時間調査を基に「一般労働者より裁量労働制で働く人の労働時間が短い」と裁量労働制対象の拡大に必死です。ところが2月14日にデータのねつ造が発覚しました。野党が調べれば調べるほどおかしな数値が存在したのです。ある人の残業時間が1週間分「35時間」なのに1カ月分で「2時間30分」なんてありません。

そんな異常値が一般労働者で117件も判明、さらに2月23日に野党が厚労省に調査に入ると、それまで加藤厚労相が「なくなっていた」と言い続けたデータの調査原票が入った段ボール箱32箱が厚労省の地下に隠していました。データねつ造は新たに233件も増えました。

アベ首相は14年5月にロンドンで「規制を打ち破るには自らドリルになる」と述べ、労働法制に穴をあけるためにねつ造データをドリルにしたのです。そして労働者代表のいない会議で経団連の意に沿う裁量労働制を決める異常なやり方で執念をもって押し通そうとしています。

今、国会は与野党の緊迫した事態を迎えています。

メディアの世論調査で「賛成」17%、「反対」58%（「朝日」20日付）です。「裁量労働制は命を奪う」と全国過労死を考える家族の会代表世話人の寺西笑子さんも日刊赤旗で痛切に訴えています。野党の結束を激励し過労死促進法案の提出を断念させましょう。(編集室)

- のり子の週刊日誌(主なもの)
- 3月2日 本会議・一般質問
 - 3日 質問準備
 - 4日 質問準備、ウオーキングクラブ総会
 - 5日 一般質問・雑賀議員(1時から) 女性議員懇談会(朝日記者) 河西無料生活相談
 - 6日 一般質問
 - 7日 一般質問、本会議、常任委員会、環境考える会
 - 8日 一般質問、本会議、ソーラー対策会議

